

京コンピュータを用いた釜石の湾口防波堤の被災メカニズムの検討
Failure Mechanism of Breakwaters at Kamaishi Bay by using K computer

*有川 太郎¹

*Taro Arikawa¹

1.中央大学

1.Chuo University

2011年3月11日に生じた東北地方太平洋沖地震津波によって多くの防波堤が被災した。被災形態は様々あるが、今次津波は、その多くが防波堤の天端を超えていたため、津波が越流した際に被災した事例が多かったのではないかと考えられている。釜石湾口防波堤は、今次津波により半分以上の防波堤が被災を受けたが、水理実験などから越流後に破壊されたと推定される。そこで、本研究では、波源域から遡上域までを階層的に解くことのできるSTOC-CADMASシステムを用いた、京コンピュータによる釜石の湾口防波堤の被災時の状況再現を行い、また、構造物との連成計算システムである、CADMAS-STRによって、その被災メカニズムの検討を行うものである。

キーワード：津波、京コンピュータ、防波堤、釜石湾、被災メカニズム

Keywords: Tsunami, K computer, Breakwater, Kamaishi Bay, Failure Mechanism

